

町社会福祉敬老大会

9月5日、町社会福祉敬老大会が町改善センターで実施され町内の長寿者など約200名が参加しました。

大会会長の赤崎一幸町社会福祉協議会会長は、「おめでとうございます。健康は人生の宝です。これからもますます元気で長生きしてください。」とお祝いの言葉を述べました。大会では米寿を迎えられた31名の方々並びに長寿夫婦13組、社会福祉関係者2名が表彰されました。

▶米寿祝いの表彰を受けられた
た橋口ヒサさん



▶長寿夫婦祝いの表彰
新田武光さん・チリ子さん



敬老訪問

9月13日、今年90歳並びに95歳になられた長寿者を訪問する敬老訪問がおこなわれました。

今回、敬老訪問を受けられた宮本義作さんは90歳。毎日元気で北方町の自宅付近を散歩したり作業をしたりするのが日課になっていらっしゃるそうです。

山口町長は「90歳のご長寿おめでとうございます。これからも私たちに指導をお願いします。また健康に気をつけて今後も元気に過ごしてください。」とお祝いの言葉を述べると、宮本さんは「本日はありがとうございます。皆さんのおかげで長生きできました。今後ともよろしくお願いします。」とお礼の言葉を述べられました。

また、同じく訪問を受けられた尾原の山下ワカノさんは、夫の静雄さんと一緒に一行を出迎えられました。静雄さんも平成12年度に敬老訪問を受けられており、夫婦そろって90歳以上となりました。

山下さんは「長生きしてまたお世話になります。」と元気な様子で夫婦仲むつまじいところをみせていらっしゃいました。



▲山下ワカノさん（前列右から2人目）を囲んで静雄さん（前列右端）ほか家族、町関係者と

さつま園敬老会

9月13日、さつま園では入所者の長寿を祝うさつま園敬老会が催されました。

敬老会で山口町長が、最年長の104歳の七瀬谷ハリさんに赤い花束を贈り七瀬谷さんが深々とお辞儀をされると、会場からは大きな拍手が湧きました。

敬老会では余興などもおこなわれ、入所者は参加された家族の方と一緒に、にこやかな様子で一日過ごしていらっしゃいました。さつま園では100歳以上が1名、90歳以上100歳未満の方が14名、今年米寿を迎えた方が3名いらっしゃいます。



▲104歳最年長の七瀬谷ハリさん（前列左端）と米寿を迎えられた皆さん